

2022.1.13 (木)
第21回例会
(通算3648回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	上期を振り返って、下期に向けて (担当：理事会)
次週例会	講師例会「ひがし北海道弟子屈町の地域おこしについて」 (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：池田 いずみ君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。先週の新年交礼会、多数の皆さん駆けつけていただきまして盛大に無事に終えることができました。いいスタートを切れたと思います。本当にありがとうございました。新年度が始まるころには、このクリスマスが終って新年交礼会が無事終わったころにはだいぶ肩の荷もおりて、気分的に少し楽になるのだろろうと思っていましたが、まったくそうならないことに最近になって気付きました。自分の考えが甘いことを反省している今日この頃でございます。改めて、残り半分、よろしく願ひしたいと思います。

さて、先週の新年交礼会、賀寿のお祝いをさせていただきました。なにせ、皆さんのお若いことに驚かされました。僕が小学校・中学校ぐらいのときの「おじいさん」という感覚で思ったのですが、例えば小学校・中学校の時の校長先生がそんな感じかなと思っていました。当時は定年も早いので、小学校の校長先生も60歳にはいってなかったのだろろうと思います。そう考えると、先週の還暦を迎えられたお兄さまたちが大変若々しいなと思いました。喜寿の栗林さん、あと傘寿の川合さん、青田さん、吉田さんは本当に若くて。

人生こうありたいなと思い起こさせる人柄でした。釧路クラブの良いところは30代から90代まで、本当にメンバーが同じクラブの中でしっかりと交流できるところだと思っています。ひとつ思い出したのは、僕が若かった入会当時のことです。山下将軍というベテランメンバーがいらっしゃいました。毎回、夜例会になりますと当時、五明さんが必ず山下将軍を車で二次会のセントポーリアにお連れして、恒例のカラオケをしていただいて軍歌を歌うのを毎回のようによくやっておりました。当時、五明さんは何も言いませんでしたけど、多分、五明さんは「良いか小僧ども、俺の姿を良く見とけ」と、何かを感じ取れという矜持を僕らも感じさせていただいて、拝見しておりました。こういう形で30代から90代までが一同に集うという機会を大切にしていきたいと思ひます。

今年はコロナの影響で例会の座席の抽選をやっていませませんが、ぜひ若いメンバーにおかれましては、もうそろそろ座席の新しいテーブルへのチャレンジをしていただいて、ベテランメンバーとの交友をもう少し深めていただいて、より良いロータリーライフを共有していただければと思っております。どうぞよろしく願ひいたします。

今日は「上期を振り返って」ということでございますので短めに終わりたいと思ひます。実は、「上期を振り返って」はクラブ協議会対応という大事な例会で

ざいます。私も含めてですが、心してスピーチしていただければと思います。
今日はどうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週・来週の例会につきましては配布の例会案内をご一読お願いいたします。
また、本日来場されました皆さまに手渡しで下期会費の請求書をお渡しさせていただきました。本来であれば郵送させていただくところですが経費削減ということでご理解・ご協力をお願いできればと思っております。私の方から幹事報告は以上となります。よろしく願いいたします。

■ 本日のプログラム ■ 上期を振り返って、下期に向けて

杉村 莊平会長



度々の登壇で恐縮です。上期を振り返ってということで少しお話をさせていただきます。まずをもちまして、上期を振り返るところまで何とかたどり着きましたこと、全メンバーの皆さんに感謝、お礼を申し上げます。ありがとうございます。
特に市橋幹事、浅川副会長、田内・得地副幹事におかれましては、まだ終わったわけではありませんが本当に支えていただいております。ありがとうございます。
振り返りますと、今年の7月にキャンドルもアッセンブリーもしていない中、スタートを切りました。何とかコロナからの離陸を目標にして、わがロータリーを楽しもうとスタートさせていただいたわけでございます。準備をなるべく早めに始めていたつもりでございますが、いざ予定者会議が始まりますと、やはりコロナに対する温度感、夜例会に対する温度感の意見の違いが大きく露呈しておりまして、この意見のとりまとめには本当に難しい対応をさせられました。
ものを申してほしいという意味で、浅川副会長には特にこの杉村にものを申してほしいとやってもらったわけですが、その当時は険悪な雰囲気が続きまして、浅川副会長には大変苦勞をさせたと感じております。この場をお借りしましてご容赦いただければと思っております。
そんなことで、こういう機会があるからこそ、夜例会が再会できた喜びはすごいものになるだろうと思っ

たり、あと昼例会だけでしたけれども会長挨拶を自分なりに工夫して、何とか釧路クラブの素晴らしさ・良さを伝えられればと思って考えたりして、上期を過ごさせていただきました。

僕は、ここを何とか半年間、やってこれたのは、釧路クラブに対する信頼感と釧路クラブは素晴らしいクラブだという自信があったので、自分を鼓舞しながらやれたのだらうと思っております。

前にも似たような話をしたことあるのですが、ここ5～6年くらい、僕がそういう思いを特に強くしたわけです。

僕が入ったところ、3年目、4年目、5年目くらいまでは、ロータリーって何だろうな、何をするとところだろう、と。ロータリーはなんぞやと、かなり悶々としておりまして、何かスッキリしないところを抱えながらやっておりました。

当時、夜例会が終わった二次会で、矢沢さんに生意気ながら議論を吹っ掛けまして、「ロータリーってなにするところなのですか？」と、「寄付だけをしていりゃいいのですか？」と、「何か事業やらないのですか？」と話をしました。

そしたら矢沢さんが大人の対応をさせていただいて、「なあ、杉村、そんなに大上段に構えて、『ロータリーで何かをしよう』なんて考えなくてもいいのではないだろうか。よく考えてみる、クラブには100人も素晴らしいメンバーがいて、それぞれの業界とか、仕事とか、街づくりとか、みんながそれぞれのこと携わっている。そういう人たちと例会でゆっくり話をして、いろんな勉強をして、時にはその手伝いをしてみたり、時には会社や家庭に持ち帰って自分でやってみる。そういうスタンスで駄目かなあ」というお話を聞きました。

僕は「なるほど、ロータリーはそういう考えでいいのだ」と思いました。その時に、こんな小僧に本当にゆっくり親切に対応していただいた矢沢さん、ロータリーの先輩、本当にかっこいいなと思えました。

何となくそれでスッキリしながら迎えていたロータリーで、それが確信に変わったのが協会長年度です。副会長やらせてもらいましたが、その時にP E T Sの第一分科会に出させてもらいました。その時に当時の成瀬ガバナーと細川エレクトが講師をしていたわけですが、まったく同じようなことを言われるのですね。ロータリーの第一義は例会に出席してみんなといろいろ話をして心を豊かにすること、心を磨くことなのだ、と。奉仕や寄付というのは、そこから発露される第2義の考え方なのだ、と。とにかくロータリーを楽しめばいいんだ、ということ成瀬さんや細川さんも声をそろえて力説されていました。なるほどと、そこで確信に変わりまして、そういう考えでいいのだと。その当時、僕は入会からやっと13年目になって、本当に

すっきり自分の中でロータリー観が出来上がって、これは正しいかどうか分かりませんが、今に至っているところであります。

この釧路クラブは、そういう意味でロータリーを考えると、何万とある世界のロータリー界のど真ん中を行っている素晴らしいクラブなのだろうと感じております。だからこそ、こういう釧路クラブを未来永劫なくしちゃいけない。なくさないためにも地域の活力とロータリーの活動が連動していかなきゃならない。相乗効果をもっていかなきゃならない、地域が駄目になっちゃダメな訳ですから。そういう意味をもって「わがロータリーを楽しむ。わが地域を育む」というスローガンにさせていただいて、何とかこの半年やらせていただいた次第でございます。

時間がなくなっておりますが、改めて一つ一つは振り返りませんが、まずは最初、コロナが蔓延した時期に、まずは佐藤委員長の頑張りや野球大会が開催できたこと。あと10月に夜例会が本当に無事に再開できたこと。ついこの間ですが85周年の例会で清水先生をはじめベテランメンバーから素晴らしいスピーチを聞いたこと。本当に感動させていただきました。それに伴って、プログラムでは中島委員長と工藤委員長には大変お世話になっております。毎回のホームページ更新では横田委員長にはお世話になっております。

また、拡大につきましては、今これを誇示するわけじゃありませんが、結果として8名の拡大ができておまして、村上委員長と五十嵐委員長には本当に頑張っていたと思っております。また、この間のクリスマス家族例会には出し物やらせていただきましたが、これは甲賀委員長と小野寺委員長のリーダーシップがなければ、皆さんにお披露目できていなかったかなと思っておりました。大変感謝しております。名前を出せなかった皆さんにもあらためて感謝しております。本当にありがとうございます。

最後になりますけれども、僕の人生訓では「自分の身の回りで起きている全てのことは全て自分に原因がある」という言葉を人生訓のひとつにしております。今、自分の周りで起こっている良いことも、悪いことも、たどりたどっていけば全部自分に原因があるのだということです。そうすると、良いことが起こるような自分にしていかなきゃならないのだろうと。それをまた循環させていかなきゃならないのだろう、と思いながら何とか過ごしているつもりです。僕はロータリーの運営についても、そう思いながらなるべくいい循環になるようにしていきたいと思ってやってきました。それこそ先週の新年交礼会の後で、レラさんに結構、大勢の方に来ていただいて、若いメンバーもすごく溶け込んで、楽しそうにお酒を飲ませていただきました。この循環を作っているのは、その場面については瀧波

委員長の器量、ウツワかなと思って瀧波委員長を頼もしく拜見させていただきました。

僕の手前味噌かもしれませんが、この上期の釧路クラブにはいい循環が回っているのかなと思っています。何とかそれを途切れさせないように、また下期も頑張っていきたいと思っております。改めて、わが釧路クラブを信じて、これからもロータリーを楽しんで頑張っていきたいと思っております。

どうぞ、下期もよろしく願いいたします。

市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。上期を振り返ってということで、まだまだ半年が過ぎたところで、幹事職としての振り返りの時間を拝借させていただきスピーチさせていただければと思っております。



入会して5～6年しか経っていないこの若輩者に幹事職を与えていただいた杉村会長はじめメンバーの皆さまに心から感謝を申し上げます。1つ1つの例会を積み上げていくたびに、様々な気付きを会長、副会長、皆さま方からいただきながら、なるほどと自分の腹の中にしっかりと落ちていき、積み重なっていくような感覚を毎週のように感じさせていただいております。また、さまざまな団体等の会合に参加をさせていただくと、他クラブの方々にもお会いする中で「釧路クラブだからいろいろ人数も多くて大変でしょう」と言われるのですが、先ほど申し上げたようなこともありまして、私は逆に釧路クラブの幹事職をさせていただいたこの2021-2022年度を非常に嬉しく思っているのが率直なところでございます。

逆に、他クラブのメンバーの皆さまにも、そういう経験をしてもらうといいのではないかと、上から目線かもしれませんが、本当にこの釧路クラブの良さを気付きさせていただきました。

杉村会長が奉仕の中でも仰っているように、この釧路クラブのオンとオフ、この規律と寛容が見事に調和したものを肌感覚で感じさせていただいて、夜間例会は楽しむところはしっかり楽しむ、一般的なプログラムはしっかり学ぶところは学ぶ姿勢を皆さま方がしっかり体现されているのを見させていただいて、本当に釧路クラブで良かったなど、そのクラブの幹事職を務めさせていただいていることに心から感謝を申し上げる次第でございます。

昨年1月から予定者理事会を開催するような流れになっていると思っていたのですが、そのころは第何波か分からないようなコロナの最中で、あえなく第1回の予定者理事会がサクッと流会になってスタートした

のを記憶しております。

杉村会長には申し訳ないなと思いながら、どのようにしたら理事会を開催できるのかと思案していた1月だったなと思っております。そのような流れの中で例会は休会中だったと思いますが、水面下で「何とか理事会だけでも開催しないと」と2月から開催させていただいて本日まで至っています。

P E T SもZOOMでのオンラインになりましたし、地区研修協議会もオンラインという流れになってしまい、非常に申し訳ないなと思っておりましたが、杉村会長は「ロータリーは集まってなんぼでしょ」とコロナ禍における大英断をいただきまして、キャッスルホテルさんに場所をお借りして、オンラインを対象者全員で見る新たな試みをさせていただいたことを思い出しました。

先ほど、会長も仰っていましたがコロナに対して職業柄、非常にガードのきつい浅川副会長と、ノーガードの急先鋒ともいえる杉村会長とのやり取りを、幹事職として一步引いた状態で見させていただいて、当然われわれ三役の中での取り決めもありますし、これを皆さまにどのようにお伝えをして、気持ちよく参加していただくかを、日頃考えながら年度当初は動いておりました。当該年度に入りましてクラブアッセンブリーを開催できずに年度に突入してしまうとか、9月に入って再び緊急事態宣言が発出され1カ月間の休会を余儀なくされ、それに伴ってガバナー公式訪問の延期もありましたが、皆さまのご協力をおもちまして、何とか時期をずらして開催させていただき、ここまで来られたと感じております。

先ほど会長も仰っておりました夜間例会も少しずつ開催をさせていただいて、10月から夜間例会を再開させていただきました。夏には佐藤委員長の方で野球大会もしっかり行っていただきましたし、11月から12月にかけては炉辺会合も開催させていただきました。少しずつ普段のロータリーへと舵を切りながら今の流れとなって来ております。

いまは少しずつ感染者が増えてきています。ぜひ、皆さま方、感染対策をしっかりとしていただいて、このいい流れを断ち切らずに年度の最後まで向かっていきたいと思っております。

クラブ概況ですが、会員数は7月1日時点で96名、現在は103名となっております。皆さまのご協力にお礼申し上げます。杉村会長が日々申しております、あと2名を拡大して10名の拡大に結び付けていきたいと思っております。合わせてご協力をお願いいたします。

また、下期の会費の請求書を本日お渡ししましたので会のスムーズな運営のためにも皆さまのご協力で早期の振り込みをお願いできればと思っております。また、ニコニコ献金は前回、新年交礼会の決算段階で約40

万円ちょっとで目標額の半分以上を突破しています。残り半期ですので、ぜひ皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

また、理事会の議事録はホワイトボードに綴っておりますのでご覧いただければと思っております。

また、青島事務局員が体調不良で退職されるという流れの中で、現在、事務局で新たな事務局員・大山さんと引き継ぎを行っております。皆さま方には会の運営でまだまだご迷惑をおかけする部分が多々あるかと思っております。少しでもその部分少なくするために頑張っております。ご協力をお願いできればと思っていません。

この後、下期で2回目の炉辺会合も企画しております。職場訪問例会ももうすぐあります。また、暖かくなってきたころには、野遊会等々を企画して皆さまに楽しんでいただけるような事業を、これからも構築していきたいと思っております。

理事者の皆さま並びに各委員会の正副委員長の皆さまにこのような若僧からいろいろお願いをさせていただくことも多々あると思っております。ぜひ、杉村会長を男にするために皆さま、残り半期のご協力をよろしくお願いいたします。

私からの報告としては以上とさせていただきます。ありがとうございました。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



最近、登壇の機会が多くて喋る内容がないのですが、なんせ会長・幹事で15分以上お話になりましたので、たしか杉村さんがロータリー

財団の大委員長だった時に To Be Continued で終わったのがありますので、甲賀さんになつぷり時間を残したいと思ひ短めにまいりたいと思ひます。

今年度、クラブ運営の大委員長をさせていただいております。まず、7月スタートの時に親睦委員会に無理をお願いしました。「クラブとしては親睦が必要だ」ということで、昼例会で親睦委員会の瀧波委員長にやっていただきました。「スタートアップパワーランチ」という名前でスタートさせていただきました。親睦が大事なのだ、とその時から思っております。

先ほどからお話が出ていましたが、9月は1カ月の休会があったのに10月からすぐ夜間例会がスタートできたことで、親睦委員会は夜も4回やっております。親睦委員会の夜の委員会に出ますと、すごい仲が良くて、これが釧路ロータリーの原動力だなど思う場面にたくさん出会っております。下期に向かってまたお願いしたいと思っております。

あと、工藤委員長のプログラム委員会ですが、いろいろな方を呼んでいただきました。釧路新聞の星匠様さんに始まりまして、JALのふるさとアンバサダーの小林千秋さん、それからk-Bizの田辺貴久さん、気象台の中山寛さん、ブランドの村尾隆介さん、あの方は本職なのでうちのロータリーのお礼では全然呼べる方ではなかった方をお話いただけたのは、クラブの人脈がすごく広いのかなと思っております。鉄道高架がありまして、12月の最後に工藤さんのやりたかったオンステージをしっかりとやっていただいて、皆さんをいじって、いじりまくったところで、工藤さんも「やった感」があるのではないかと考えております。

あと出席委員会です。今年度、樋口さんに委員長をお願いして、毎月1カ月分の出席率を発表しております。クラブですので出席は義務ではなくて権利を行使できる場所です。ぜひ、その率も頭に入れて多くの参加をお願いしたいと思います。

下期にはメイクアップが用意されております。コロナがどうなるか難しいところもあるかもしれませんが、他のクラブに行って釧路クラブの良いところを宣伝し、また他のクラブとの友好を深め、他のクラブで握手攻めにあったり、今でもやっているのでしょうか、生でロータリーソングを歌ったり、生演奏で歌ったりがありますので、ぜひ体験していただければと思います。

対象としては3年未満の新入会員を中心に、その方をパスト会長の皆さまに引率して行っていただければと思います。そして、幹事にはメイクアップ料を全部クラブで負担してくれるようお願いしております。ご案内の際にはぜひ参加していただければと思います。

クラブ運営委員会からは以上となります。下期もまたよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

皆さん、こんにちは。クラブ広報・会員組織委員会の委員長を務めております村上です。委員会の名前がなかなか覚えきれなくて大変失礼いたしました。当委員会、上期を振り返りますと、今カメラで撮っていただいている横田委員長率いるクラブ会報委員会、それから五十嵐委員長率いる会員増強委員会。この委員会のメンバー、皆さんお力いただいた中で素晴らしい活動ができた半年だったと考えております。

私、自分のことを振り返らせていただきます。私



自身、この上期を振り返ると、何を言っても「会員増強」「会員増強」だったと思っております。予定者段階から杉村会長に促されて「リストアップはどうなっている」「情報は集めたか」、そして行動をして、まさにPDCAの繰り返しです。随分と杉村会長に導いていただいたと思っております。

その会員増強にあたって思ったところは、私の年代のせいなのか分からないのですが、釧路クラブもそうですが他クラブに知人が非常に多いのですよ。そうすると勧誘など対象にしている人が被るのですね。他のクラブの人もその方を（言い方悪いけど）狙っている。私も狙っていると、しょっちゅうそういう話になってしまうのですよ。そうは言っても釧路クラブに来てくれるだろうと思っていたら、その方からの電話が鳴って、「よし来たか」と思ったなら、「村上さん、他クラブの誰々さんからも誘われていて、決められないのです。なので、ライオンズクラブに入りました」と言うのですね。こういう逃げ道があったのだなと思ってびっくりしましたけど。

そんなこんなもありまして、やり方を考えなきゃいけないと思って、会員増強の係だから、役割だからというスタンスで口説くのか、それとも、自分はこの釧路クラブに在籍して良かった、入会させてもらって良かったと思っていますし、いま釧路クラブで楽しく活動させてもらっています。その気持ち、釧路クラブは楽しいなと思っているその気持ちで会員増強に当たるのか。ここだろうなと思っているのです。それから、「自分はこの釧路クラブで楽しめている」という、その直球だけを投げ続けて、それから少しずつ結果が出てきたのを実感した半年でありました。

これまで上期にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げますとともに、下期も変わらず活動を続けてまいりたいと思っています。最後までご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に、いつの例会か忘れちゃったのですが「私の怖いものベスト3」というテーマの会員卓話があったのですが、コロナの影響でなくなっちゃったのです。その時、私がスピーチの準備をしていたことがありまして、その時は、私の怖いものって面白くないなって思ったので、全く違うSDGsの取り組みについて話をしようと思って用意しました。今日は全くそのことではなくて、せっかく与えていただいたテーマなので「私の怖いものベスト1・2・3」の1つだけお伝えして、話を終わりたいなと思っています。私の怖いものは、冗談の通じなかった時の浅川さんです。

以上で私のスピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員長の小



野寺です。奉仕プロジェクト委員会が統括する各委員会の上期の活動を振り返りますと、年度早々、毎年恒例の夏に開催

されました青少年奉仕委員会の全道中学硬式親善野球大会は佐藤委員長のご尽力により無事に開催することができました。会場を提供していただいた釧路工業高校、また釧路リトルシニア球団の保護者や関係者の皆さまにも改めて感謝をいたすところでございます。

国際奉仕委員会ではコロナ禍により、郵送等でのやり取りになりましたけれども、台北中央クラブとの姉妹クラブ締結の更新は荒井委員長を中心にして行っていただきました。

菅原委員長率いる社会奉仕委員会では「クラブ創立85周年の記念事業」として釧路市へコロナ対策関連備品の寄贈の窓口となっただき、無事その事業を終えることができました。職業奉仕委員会の活動ですが、当初、上期中に予定しておりました職場訪問例会がコロナ第5波の煽りを受ける形で中止となりました。こちらは吉岡委員長のもと、下期に開催できるよう再検討していただいていますので、その例会には皆さんのご参加をお待ちしています。

ということで、各委員会の皆さまがとても優秀な方々ばかりで、大委員長である私が出る幕がほとんどなかったわけです。その余力はクリスマス家族例会でのシンクロナイズドスイミングで発揮できたのかなと自負しています。

残り半年、委員会としての活動はあまり残ってはおりませんが微力ながら杉村会長を支え、時には後ろから鉄砲を撃つ覚悟で全うしていきたいと思っております。

皆さまのご協力を引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

ロータリー財団・奨学推進委員会 甲賀 伸彦委員長

時間調整ということで最後です。ロータリー財団・奨学推進委員会の委員長を仰せつかっております甲賀と申します。



まず、ロータリー財

団、米山、嵯峨記念ということで、今年の理事会の中で「炉辺会合でお話するテーマありますか」ということがあって、ちょうど公益財団の嵯峨では石田理事長に変更になりました。いろいろ変えた方がいいかなという部分もありまして「何とか炉辺で」とお話をしたところ、先般の炉辺会合（8組）でお話をさせていただきました。通常は炉辺会合で15分ぐらいすると、違う話をして「ギャー」と盛り上がるのですが、どのテーブルも2時間きっちり嵯峨の話をさせていただいたということで、非常にありがたいと思っています。

あと、個人的にですが、栗林さんに「五明さんに副委員長をやっていただこう」とお願いしていたところ、五明さんが去年2月にご逝去されましたので、市橋幹事に「誰が残っている方いませんか」と言ったら、「大物しかない」ということで、隣に住んでいる栗林さんに「何もすることないから、副委員長に」とお願いしたのですが、さっそく出張と当たってしまい、活動計画の時に栗林さんを壇上にあげさせてしまったこと。「1回だけです」と言ったのですが、今度ガバナー公式訪問の時に私が出張に当たっていて、その時にも出席していただいたこと、本当に申し訳ないと思っています。

せっかくの機会です、お話ししたいのですが、経済団体でもありますので。今年の令和4年1月1日から電子取引、簡単に言いますとAmazonでポチッと買ったら、紙での保存は税法上認められなくなりました。いわゆるPDFで保存しなきゃいけないのです。やっと僕の時代に来たかなと。紙のない時代なのですが、幸い、釧路クラブには2名の税理士がおりまして、どちらも紙のない時代に対応している税理士がおりますので電子取引の保存・帳簿保存につきましてご心配の方は、時代に対応した税理士に聞いていただければと思います。

ちょうど時間となりましたので終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■清水 輝彦君 無理はしませんが、「何事も前向きに」と思っています。

今年度累計 426,000円